

令和 5 年 5 月 24 日現在

機関番号：33906

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2022

課題番号：17K03260

研究課題名(和文)大規模都市化に伴う郊外地域の変容に関する地誌学的研究

研究課題名(英文)Regional-Geography-Based Research into the Transformation of Suburban Areas of East Asian Cities Accompanying Large-Scale Urbanization

研究代表者

季 増民 (JI, zengmin)

椋山女学園大学・文化情報学部・教授

研究者番号：20278237

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：1960年代、日本に始まった高度経済成長の波を追いかけながら、中国やインドネシアを経て東南アジア最西端のミャンマーまで、都市化に伴う郊外の土地利用と景観や地域・社会構造の変容を時空間的に調査した。また、経済・社会発展度合いの推移に沿って、先進国、新興国、後発国の順に焦点を当て、どのようにして低迷期から脱出して、高度経済成長期(いわゆる活発期)に突入し、成熟期に着陸したプロセスを検証した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

理論的には、「Desakota：都市農村共存型大都市論」などに代表される既存理論との連続性や新興国での実践性について検証し、都市とも農村とも異なる郊外という「第三地帯」の研究枠組みを提案する。対象としての「郊外地域」、分析枠組みとしての「郊外地域」という地誌学方法論を再考し、都市と農村に並ぶ郊外モデルの確立を進めてきた。また、研究を通じて地理学的な社会貢献について新たな知見を模索した。実践的には、大都市圏の地域構造再編への影響を解析し、持続可能な地域発展への提言を行う。

研究成果の概要(英文)：The surveys focused on changes in such areas as suburban land use and landscapes, as well as changes in regional and social structures, and were conducted in a number of countries across East and Southeast Asia, ranging from China and Indonesia in the east to Myanmar, the westernmost point in the Southeast-Asia region. Additionally, the researchers examined in succession the shifts in the degree of socio-economic development in advanced countries, emerging countries, and as-of-yet underdeveloped countries in East and Southeast Asia, in order to establish the processes by which these countries were able to do :1) escape from the depths of poverty and disfunction; 2) enter a period of rapid economic development (the so-called “active phase” of development); 3) reach a state of socio-economic maturity.

研究分野：地誌学

キーワード：高度経済成長 都市化 郊外 土地利用 地域 社会構造 変貌 時空間的

様 式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

農業国から工業国への転換という時代の変わり目には、新興国の都市と農村が交わる郊外は地域再編の橋頭堡としての存在が際立っている。1990年代以降、アジア新興国は欧米先進国に取って代わり世界における最も都市化が著しい地域に急変している。その顕著な特徴の一つは、市街地以上に郊外地域(工業・住宅・流通団地等)拡大と人口の集積が前例を見ない速度と規模(数十平方キロ、数十万人)で急劇に進行していることである。また、農村から都市に向う元農民のいわゆる「向都大移動」の向先は、市街地よりも郊外地域である。それに伴い、郊外の地域構造や社会構造が激変した。

2. 研究の目的

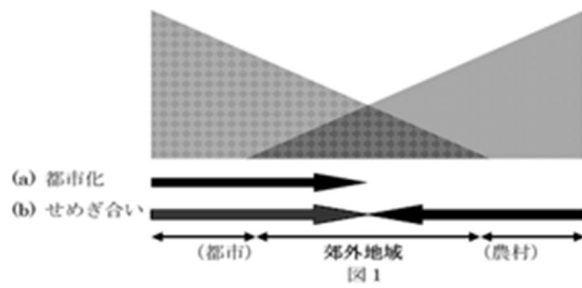
本研究は、東アジア(日本、中国等)、東南アジア(インドネシア、ミャンマー、フィリピン等を対象地域とし、1960年代日本に始まった高度経済成長の波を追いかけてながら東南アジア最西端のミャンマーまで郊外の地域や社会構造の変貌を横断的に解明する。

3. 研究の方法

具体的には人々の移動を通して表現される郊外における地域や社会構造変貌の実態を解明する。その上で「空間的に隔たった他者のアジア社会」と「時間的に隔たった通時的な躍進」、そして時空間を超えたこの両者のクロスの実態とその深層メカニズム、クロスのプロセスと転換点(ポイント)、さらには、異文化同士のシンクロの到達点を特定する。

4. 研究成果

従来、「都市化の進展に伴って」という文脈の中で都市研究の一部として扱われていた領域に、都市でも農村でもない領域 郊外地域 が実在するようになった。つまり、「都市化によって浸食・後退する農村地域」(図(a)ではなく、固有の構成原理をもった、都市・農村の二者択一ではない第三地帯である郊外地域が現出しつつあり、その構成原理は都市と農村のせめぎ合い(図の(b))によって規定され、その構成原理は個々の地域によって差異がある。経済急速成長下にあるアジア新興国の地域構造を解明し、都市と農村の調和がとれた発展を図る上で、両者にまたがる変動域である郊外という単独の地域概念の確立が必要不可欠になっている。



理論的には、「Desakota：都市農村共存型大都市論」などに代表される既存理論との連続性や新興国での実践性について検証し、都市とも農村とも異なる郊外という「第三地帯」の研究枠組みを提案する。対象としての「郊外地域」、分析枠組みとしての「郊外地域」という地誌学方法論を再考し、都市と農村に並ぶ郊外モデルの確立を進めてきた。また、研究を通じて地理学的な社会貢献について新たな知見を模索した。

実践的には、大都市圏の地域構造再編への影響を解析し、持続可能な地域発展への提言を行う。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 季増民	4. 巻 53号
2. 論文標題 ヤンゴン郊外地域進出企業従業員の構造とライフデザイン	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 椋山女学園大学研究論集、社会科学篇	6. 最初と最後の頁 91-105
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 季増民	4. 巻 21巻
2. 論文標題 ヤンゴン郊外地域における海外進出企業事業展開	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 椋山女学園大学文化情報学部紀要	6. 最初と最後の頁 29-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 季増民	4. 巻 52号
2. 論文標題 高度経済成長期におけるヤンゴン郊外地域構造の変化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 椋山女学園大学研究論集、社会科学篇	6. 最初と最後の頁 59-70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 季増民	4. 巻 20
2. 論文標題 長江デルタにおける都市近郊農村の都市化過程の研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 椋山女学園大学文化情報学部紀要	6. 最初と最後の頁 69-90
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 季増民	4. 巻 19
2. 論文標題 ミャンマーにおける外資企業事業展開の地域特性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 椋山女学園大学文化情報学部紀要	6. 最初と最後の頁 57-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊山・楊虹霓・季増民・于路路	4. 巻 38巻第1期
2. 論文標題 快速城鎮化背景下鄉村居民生活圏の重組機制—以昆山群益社区為例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地理研究	6. 最初と最後の頁 119-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 季増民	4. 巻 第18巻
2. 論文標題 中国沿海部の郊外地域における農民工の「市民化」動向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 椋山女学園大学文化情報学部紀要	6. 最初と最後の頁 51-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 季増民	4. 巻 第49号
2. 論文標題 移住先における新住民の住み分けに関する地理学的考察 中国Z省K市を事例に -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 椋山女学園大学研究論集	6. 最初と最後の頁 19-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 季増民	4. 巻 第16巻
2. 論文標題 都市周縁部におけるニューカマーの生活実態 - 江蘇省昆山開発区でのアンケートに基づく考察 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 椋山女学園大学文化情報学部紀要	6. 最初と最後の頁 33-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 季増民
2. 発表標題 中国における都市化に伴う郊外地域の変容 - 実態調査に基づく考察
3. 学会等名 日本学術会議公開シンポジウム
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 季増民 (JI zengmin)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 296
3. 書名 Exploring Sustainable Land Use in Monsoon Asia	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------